

2025年4月1日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ

三菱 UFJ フィナンシャル・グループの金融経済教育の強化について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）は、政府が掲げる「資産運用立国」において、資産運用ビジネスは日本経済を活性化させる重要な取り組みであり、中長期的な成長戦略の一つと位置付け、金融リテラシー向上に向けた取り組みとして、金融経済教育を積極的に推進しています。その中で、金融経済教育の更なる普及の取り組みを強化するため、4月1日付で金融経済教育担当役員を新設し、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ常務執行役員 Deputy CSO の南里彩子が就任したことをお知らせいたします。またこのほど、MUFG の金融経済教育に関するポータルサイト「マネび屋」をリリースし、グループ一体となった学生向け金融経済教育のプログラムを一覧、申込できる体制を整えるとともに、デジタル版の新規プログラム「お金の力-CHOICE-Digital」の提供を開始いたします。

MUFG では、金融経済教育の提供は、MUFG が優先して解決に取り組む 10 課題の一つである「少子高齢化への対応」に対する主要施策の一つと位置付けております。金融経済教育を通じたりテラシーの向上と投資促進・資産形成支援が金融機関としての責務であると考え、金融経済教育担当役員を中心としてグループ一体で、更なる強化を図ってまいります。

この取り組みの一環として、授業をより多くの学校現場に届けるべく、MUFG の金融経済教育のラインナップや各種情報の提供と、学校からの授業申込を受付することのできるポータルサイト「マネび屋」をリリースいたしました。

MUFG では、金融リテラシーマップに基づいた正しい金融知識を各年代層の学生に伝えていくため、MUFG グループ各社がさまざまな特色あるプログラムを作成しており、約 300 名の社員ボランティアをはじめとする、社員講師による授業を実施しています。「マネび屋」では、生徒の興味や学習レベルに応じて MUFG のプログラムを申込できるようになっており、教員や学校関係者の皆様と協力しながら、生徒たちの金融リテラシーを育むことをめざしています。

また、金融経済教育の更なる普及を目的として、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社が提供する高校生向け探究型プログラム「お金の力-CHOICE-」をデジタル化した「お金の力-CHOICE-Digital」（以下 本プログラム）を開発しました。本プログラムを通じて、お金の使い方による自分の人生と未来の社会に対する影響を、カードゲームを通して体験的に学ぶと同時に、探究学習において重要要素の一つである振り返り機能の充実化と授業効率化により、更なる学びの時間が創出可能となります。

MUFG は、自社のパーパス（存在意義）を「世界が進むチカラになる。」と定め、全てのステークホルダーが次へ、前へと進むチカラになること、そのために全力を尽くすことを企業活動の指針としています。金融機関として次世代を担う子どもたちが将来に向かって進むチカラになるべく、これからもグループ一体となって金融リテラシーの向上に貢献してまいります。

[1] MUFG 金融経済教育ポータルサイト「マネび屋」：<https://manebiya.mufg.jp/>

[2] 「お金の力-CHOICE-Digital」ご紹介ページ：<https://manebiya.mufg.jp/programs/p22>

以上